

## 第1回中執・第2回中執・三部長会議を開催

— 2026年度の取り組みがスタート！ともに頑張ろう —

日高教は4月5日(日)、2026年度第1回中央執行員会をWeb会議形態で開催した。協議では、年間の主要行事及び教文・教財・賃対部の各部長、各委員会の設置等についての審議とともに、今後の日高教の活動方針や取り組みを検討及び確認した。4月19日(日)には同様の形態で第2回中央執行委員会を開催し、協議では定期大会の議案書や春季独自要請行動、専門部要請における要望書等の検討を行った。また、4月1日(水)より教文部、教財部、賃対部各部長会議を書面で開催した。協議事項を踏まえ、各単組に検討を依頼した。

### 1. 2026年度年間行事予定について

執行部から次のとおり提案され、行事の持ち方を含めた協議が行われた。

<現地開催の行事>

行 事 名	開 催 日	場 所(※その他)
第124回定期大会	5月9日(土)	日高教本部ほか(Web開催)
春季独自要請行動	6月1日(月)・2日(火)	(議員会館)・各省ほか
第36回専門部合同集会	7月26日(日)	東京都内(AP浜松町)
専門部交渉	7月27日(月)	文部科学省・総務省
大学入試室交渉	9月14日(月)	Web会議
秋季独自要請行動	11月 2日(月)	(議員会館)・各省
第72次全国教育研究集会	11月28日(土)	栃木県宇都宮市

### 2. 2026年度予算の骨子について

中央執行部から一般会計・特別会計の骨子について説明がなされ、了承された。

### 3. 2026年度における教文部・教財部・賃対部の各部長について

単組名	教 文	教 財	賃 対	諸会議議長
福 島	原田 大輔	佐川 英太	羽田 真幸	会議出席者
栃 木	◎遠藤 陽介	◎高橋 壮大	若林 徹大	水沼 洋和
島 根	佐藤 昌子	高下 克己	藤原 貞夫	森田 周
徳 島	○林 竜太郎	松下 洋平	○青山 浩章	青山 浩章
愛 媛	高橋 遼介	山能 研司	河野 靖典	高橋 遼介
高 知	岩貞 篤芝	○小野 邦生	◎山中 寿紀	小野 邦生

◎:日高教部長 ○:日高教副部長

### 4. 大会及び諸会議の議長について

議 名	日 程	議 長(単 組)	※定中議運
第124回定期大会	5月9日(土)	森田 周(島根)	①(栃木)
		高橋 遼介(愛媛)	②(-)
第1回定期中央委員会	4月26日(日)	佐瀬 善美(福島)	③(愛媛)
第2回定期中央委員会	9月 7日(月)	書面開催 -	④(栃木)
第3回定期中央委員会	11月 2日(火)	青山 浩章(徳島)	
第4回定期中央委員会	2月22日(月)	小野 邦生(高知)	

### 5. 各委員会設置について

#### (1) 財政・組織確立委員会(財確)

東ブロック	西ブロック
◎鈴木 知洋(福島)	廣瀬 卓(島根)
鯉沼 正行(栃木)	松下 洋平(徳島)
早川 良夫(神奈川)	池内 大輔(愛媛)
	金子 正雄(高知)

メンバーは各県の全委員長で構成 ◎:委員長

#### (2) 役員対策委員会(役対)

東ブロック	西ブロック
鈴木 知洋(福島)	廣瀬 卓(島根)
鯉沼 正行(栃木)	松下 洋平(徳島)
早川 良夫(神奈川)	◎池内 大輔(愛媛)
	金子 正雄(高知)

メンバーは各県の全委員長で構成 ◎:委員長

#### (3) 選挙管理委員会

委員長	副委員長
◎鯉沼 正行(栃木)	○早川 良夫(神奈川)

## 6. 2026年度中央執行部業務分担について

役 職	氏 名	書記局業務	専門部担当	関係団体
中央執行委員長	鯉沼 正行 (栃 木)	総括	総括	連合、公務員連絡会副議長、公務労協、生きがい支援、生涯福祉財団、教職員共済生協
中央執行副委員長	鈴木 知洋 (福 島)	中央執行委員長補助	特支	公務員連絡会幹事 公務労協地方公務員部会幹事
	廣瀬 卓 (島 根)	中央執行委員長補助	図書	
	松下 洋平 (徳 島)	中央執行委員長補助	女性	
	池内 大輔 (愛 媛)	中央執行委員長補助	定通	
	金子 正雄 (高 知)	中央執行委員長補助	実教	
書 記 長	横田 聡史 (福 島)	総務・組織 情宣・会計 教文・賃対 教財・法制共闘・厚生	総括	連合、公務労協
書 記 次 長	山能 研司 (愛 媛)	総務・会計 組織・厚生	青年	
中 央 執 行 委 員	由田 桂一 (福 島)	教文・賃対 教財・法制	養護	
	水沼 大徳 (栃 木)	教文・賃対 教財・共闘	事務	
	藤原 弘一 (島 根)	教文・賃対 教財・情宣	現業	

## 7. 三部長会議について

### ◆教文部長会議での主な内容

- ・2026年度の運動の基本方針及び具体的な目標と進め方、第72次全国教育研究集会を中心に検討を依頼した。
- ・第72次全国教研集会は、11月28日(土)に、栃木県宇都宮市において開催する。開催県の栃木教研にもとづいて午後半日の開催と終了後にレセプションによる交流を実施する。職場民主化調査の結果を踏まえたグループ別協議と、第1分科会(高校)、第2分科会(特別支援)に分かれての協議を行い、単組の教育研究集会の体制に日高教が参加する方法を想定している。
- ・その他、春季独自要請の文科省要望書に関する検討も依頼するとともに、各県独自の取り組みについて情報共有を図る。

### (今後の日程)

- 9月7日(月) 第2回教文部長会議(17:00～)Web形式 ※第6回中執と合同開催
- 9月14日(月) 文科省大学入試室要請(17:00～)Web形式
- 11月28日(土) 第3回教文部長会議

### ◆教財部長会議での主な内容

- ・2026年度の運動の基本方針及び具体的な目標と進め方、秋季独自要請行動の日程及び要望書、「2027(令和9年度高校・中等教育学校及び特別支援学校教育予算の増額・充実に関する要望書)」について、検討を依頼した。
- ・日高教秋季独自要請行動は、11月2日(月)に議員会館で実施することとした。
- ・その他、各県独自の取り組みについて情報共有を図る。

### ◆賃対部長会議での主な内容

- ・2026年度の運動の基本方針及び具体的な目標と進め方、春季独自要請行動の日程及び要望書、「2027(令和9)年度高校・中等教育学校及び特別支援学校教育予算の増額・充実に関する要望書)」について、検討を依頼した。
- ・日高教春季独自要請行動は、6月1日(月)～2日(火)に参議院議員会館で実施することとした。
- ・その他、各県独自の取り組みについて情報共有を図る。

## 2026年度日高教第1回定期中央委員会を開催

— 第124回定期大会及び本年度の重要行事等について審議、了承される —

日高教は4月26日(日)、2026年度第1回定期中央委員会をWeb会議で開催した。山能書記次長による資格確認の後、金子中央執行副委員長の開会宣言、議長には福島高教組の佐瀬中央委員を選出し、議事運営委員には栃木高教組の水沼中央委員、記録を藤原中央執行委員に委嘱した。鯉沼中央執行委員長の挨拶では、5月開催の定期大会に向け、定期大会の意義について述べられた。内容は次のとおりである。その後、横田書記長が一般経過報告を行った。続いて、山能書記次長による決算報告と近藤弘法会計監査委員(愛媛)から監査報告を行い議事に移った。各議案の審議の概要は以下のとおりである。



挨拶を行う鯉沼中央執行委員長

### 【中央執行委員長挨拶】

日頃の活動への取り組みお疲れ様です。また、新年度忙しいところお集まりいただきありがとうございます。さて、本日の第1回定期中央委員会は、5月の定期大会に向けた議案もあるため、定期大会についてどのような目的があるかご紹介いたします。定期大会は、組織にとって1年で最も重要な「最高意思決定機関」です。単なる恒例行事ではなく、組合員全員の意思を反映し、今後の活動の方向性を決める法的な重みを持つ場です。主な理由を3つのポイントとして、次の通りになります。

#### 1. 民主的な運営の担保(最高意思決定)

組合は一部の役員だけで動くものではなく、組合員一人ひとりの声で運営されるべきものです。定期大会は、全組合員の代表(代議員)が集まり、活動方針と予算と決算を決定します。

#### 2. 団結力の誇示と意思統一

対外的な交渉において、組合の強さは「どれだけ多くの組合員が同じ方向を向いているか」に左右されます。大会が盛大に、かつ整然と行われることは、行政に対して「これだけの人数が団結している」という強いメッセージになります。

また、現場で起きている課題を共有し、「自分たちの悩みは自分たちだけのものではない」と再確認する場でもあります。

#### 3. 法的な位置づけ

労働組合法などにおいて、組合が「労働組合」として認められ、交渉権などの権利を行使するためには、規約にもとづいて民主的に大会を開いていることが1つの要件となります。つまり、組織としての正当性を証明する手続きでもあるのです。

年度初めに示される教育施策や給与勧告に対するそれぞれの考え方を決定する場になりますので、現場の多忙化が深刻な今だからこそ、どのような要求を県に行っていくか決める「スタートライン」としての役割が非常に大きくなります。

定期大会は、組合という「船」がこれから1年間、どの島つまり「目標」をめざして、どうやって進むのかを全員で確認し、その航海に必要な「燃料つまり『予算』」と多くの団体では「船員つまり『役員』」を承認する、極めて重要な儀式なのです。

日高教の活動として、第124回定期大会に向け日高教に集結する単組が団結して1年間の取り組み方針を進められるよう、また春季独自要請行動に向けた中央への要請による課題解消をめざし、本日も的確かつ活発な協議と議決につきまして皆様のご協力をお願いいたします。

- |       |   |
|-------|---|
| 第1号議案 | 「2025年度決算に関する件」は、決算報告及び監査報告にもとづいて、一般会計及び特別会計の各項目について審議を行い、原案通り承認された。今後、定期大会にて議案として提案する。   |
| 第2号議案 | 「2026年度組合費の基本額等に関する件」は、2026年2月24日付、日高教財政確立検討委員会「日高教の財政確立の在り方について(報告)」にもとづいて、定期大会にて提案する予算の基本的事項である組合費等について審議・承認された。                                |
| 第3号議案 | 「第124回定期大会に関する件」では、本大会を5月9日(土)にWeb開催をすることとし、決算及び予算などの大会提出議案項目等を決定した。また、大会のメインスローガン及びサブスローガン、運動の基本方針、運動の具体的な目標と進め方について、質疑応答を通して具体的な意向を確認した上で承認された。 |

- 第4号議案 「2026年度予算に関する件」は、一般会計及び特別会計の各項目について審議を行い、原案通り承認された。今後、定期大会にて議案として提案する。
- 第5号議案 「当面の取り組みに関する件」では、教職員の持ち授業数に応じた定数改善や、予算の付け替えでない給与と手当の改善、私立高校の授業料実質無償化に向けた公立高校への予算拡充、教員の不祥事を踏まえた防犯対策などについて活発に議論し合い、21項目の具体的な取り組みを行うことが承認された。
- 第6号議案 「日高教独自要請行動に関する件」は、6月1日(月)～2日(火)に、参議院議員会館で開催することが決定した。全体会及び要請行動、総括集会までの内容ほか、集会役員の配置等に関して各県の割り当てが行われた。
- 第7号議案 「第37回専門部合同集会に関する件」は、7月26日(日)にAP浜松町にて開催することとし、翌27日(月)には文科省要請、総務省要請も行うことが提案され、一部の専門部が午後の要請になることも踏まえ承認された。
- 第8号議案 「各種委員会の設置に関する件」は、第1回中央執行委員会(4月5日)の協議にもとづき、役員対策委員会及び財政・組織確立検討委員会を設置することが承認された。各委員会における委員は、全国代表者で構成し、財政・組織確立検討委員長を鈴木知洋氏(福島)、役員対策委員長を池内大輔氏(愛媛)、選挙管理委員長を鯉沼正行氏(栃木)に委嘱された。
- 第9号議案 「その他に関する件」は提案なし。

最後に、鈴木中央執行副委員長から閉会宣言があり、第1回定期中央委員会を終了した。



円滑な議事運営に努める議長の佐瀬中央委員